

トイップ
いしかわ TOYP 大賞を受賞した
能登町出身のジェラート職人

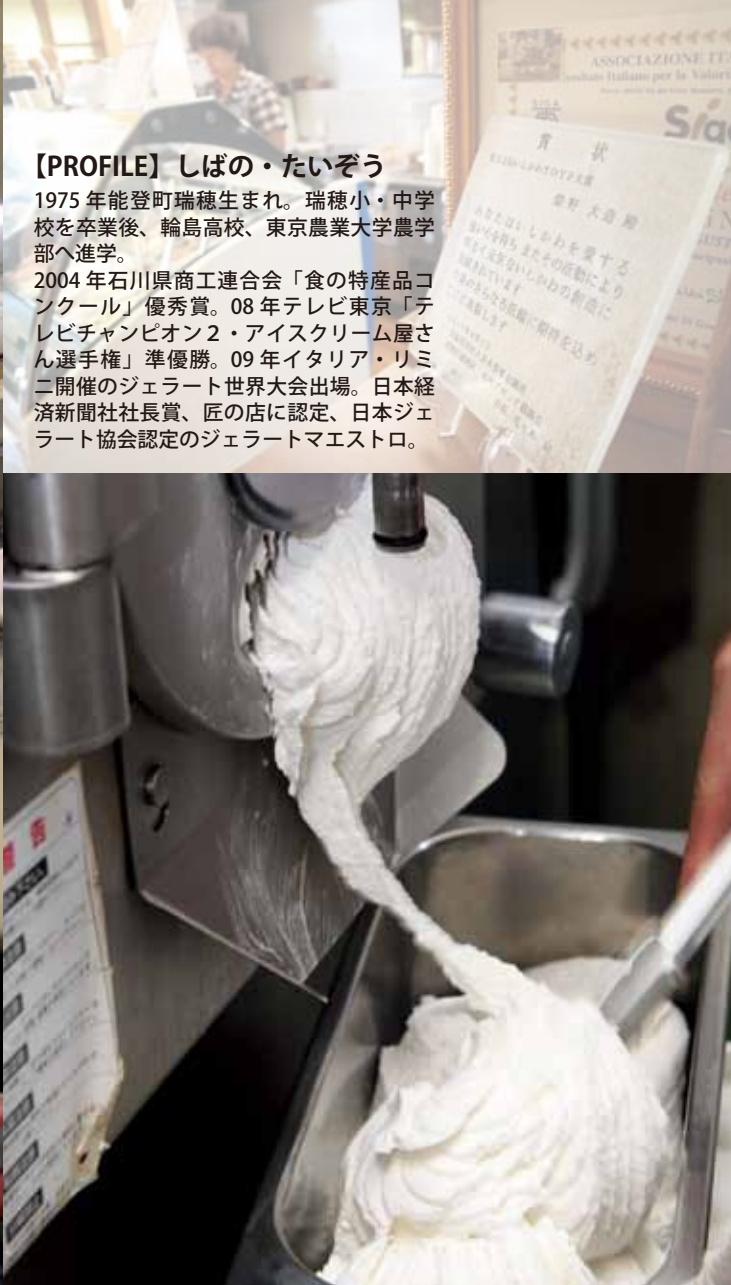
柴野大造さん

Shibano Taizo (36)

【PROFILE】しばの・たいぞう

1975 年能登町瑞穂生まれ。瑞穂小・中学校を卒業後、輪島高校、東京農業大学農学部へ進学。
2004 年石川県商工連合会「食の特産品コンクール」優秀賞。08 年テレビ東京「テレビチャンピオン2・アイスクリーム屋さん選手権」準優勝。09 年イタリア・リミニ開催のジェラート世界大会出場。日本経済新聞社社長賞、匠の店に認定、日本ジェラート協会認定のジェラートマエストロ。

「メイドイン能登」にこだわり
能登を発信していきたい。



TOYP 大賞受賞

「能登の生乳にこだわって、これからもジェラートの可能性を追求していきたい」

能登町出身のジェラート職人、柴野大造さん(36)が9月3日、「いしかわTOYP大賞」を受賞した。

TOYPとは「傑出した若者たち(The Outstanding Young Persons)」という意味。日本青年会議所石川ブロック協議会が、夢とロマンに燃える活発な活動で、社会に大きな貢献を果たしている若者を顕彰する事業だ。22回目を迎えた今年は、さまざまな分野で活躍する45人の応募・推薦の中から、柴野さんをはじめ5人が選ばれた。

「地元を根ざして、あきらめないで続けてきたことが認められた。家族の支えが大きい」と受賞の喜びを語る。

ジェラート職人への道

酪農家の長男として生まれ、東京農業大学に進んだ柴野さん。卒業後は地元に戻り、家業を継いだ。

野さん。現在までに開発した商品は400種類以上にのぼる。

「ジェラートは素材の味がそのまま出る。だからこそ主原料である生乳は能登産にこだわりたい。さらに能登野菜や果物など、地域素材をジェラートにすることで、地域の方々と密接につながることもできる。結果的に能登に貢献できているとしたら、本当にうれしいし、やりがいを感じる」と地元食材への思い入れを語る。

「子どものころから酪農を見てきた。牛乳の生産現場を知り尽くしている人間が作ることで、物語のある商品を作りたい。能登の生乳、地元の素材にこだわることは、自分の中で絶対にぶれることはない」

野々市から能登を発信

平成20年には『テレビチャンピオン2・アイスクリーム屋さん選手権(テレビ東京)』に出演。液体窒素を使ったパフォーマンスを披露して準優勝となった。

「放映後、東京や大阪から食べに来てくれるお客さんもいた。テレビがきっかけで『能登

』酪農家として生き残る道は、生産者が加工までやるしかない。数ある乳製品の中で、子どもからお年寄りまで好まれるものとして、ジェラートに注目した」と当時を振り返る。

「北海道から九州まで全国の牧場を視察した。生き生きとジェラートを作る牧場主の姿を見て、自分もジェラートをやりたいと強く思った」

物語のある商品を作る

平成11年、瑞穂地区に酪農家を手掛ける県内初のジェラートショップをオープン。

「お客さんの声を聞きながら試行錯誤を重ね、今の味にたどり着くまでに2年かかった。基本となる味ができて、ようやくレパートリーが増やせるようになった」

能登の海産物を生かしたいと考えた柴野さんは、珠洲の塩田の塩を使った「天然塩」のジェラートを開発。この商品は大きな注目を集め、取引先の拡大につながっていったという。

「おいしい素材があれば何でもジェラートにする」という柴



9月5日、青年会議所メンバーと能都庁舎を訪れ、持木町長に受賞を報告。

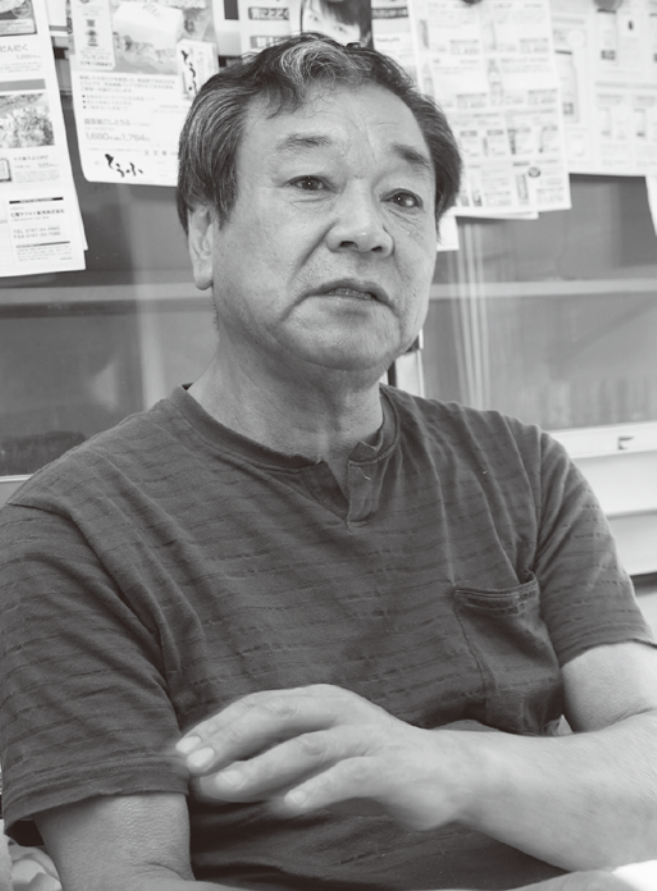
出身のジェラート職人』として認知された部分は大きい」

平成16年にオープンした野々市店には、老舗和菓子メーカーや漬物メーカー、野菜生産者などが次々と商品開発の話を持ち込む。11月には、中国での共同出店も計画されているという。

「メイドイン能登で手作り乳製品の総合メーカーを目指したい」と今後の目標を掲げる。

「自分はどこに行っても能登出身だと胸を張る。能登は私の誇り。自分ができることで能登ブランドを創出して、能登に人を呼びたい。そして能登の酪農家を元気にしたい」

常に軸足を能登に置きジェラート職人、柴野大造。積み重ねた努力と持ち前の行動力で、世界へ羽ばたく。



問い合わせ先

■能登きのご祭り実行委員会（ふるさと振興課内） ☎ 62-8532

■品評会 農林水産課 ☎ 76-8302

第2回 能登きのご祭り 2011

能登きのご祭り品評会委員

真脇公夫さん

【まわき・きみお】(63) 宇出津

能登は全国的に見ても、マツタケの産地と言えます。しかし、最盛期の20〜30年前に比べると、生産量は1割まで減っています。原因はいろいろと考えられますが、私は温暖化と松の木の変化が一番の原因だと思っています。能登の松はほとんどが50年

五感まるごと能登づくし秋のイベント「能登きのご祭り」は、10月16日(日)に柳田植物公園で開催される。今回、能登きのご祭り品評会委員で、長年能登きのごの仲間人としてのきを見つけてきた真脇公夫さんに、産地としての可能性などを伺った。

以上経過しています。老化した松は松食い虫にもやられやすいので、松の木自体も減っているのです。日本中の産地が同じ問題を抱えています。京都では、50年たった松林を根こそぎ掘り返して、若返りを図るなどの対策をしているそうです。能登のマツタケは質が高い。今後ブランド化して、産地として生き残っていくためには、思い切った里山の再生が必要になるのではないのでしょうか。きのこ祭りは、旧柳田村時代から関わっています。毎年いろいろなきのこが出てくるので楽しみです。仲買人として、即売するきのこの値段を付けていますが、当日は市価の約3割安で値段を付けますので、ぜひお気に入りきのこを見つけて購入してほしいと思います。能登ではマツタケのほかに、コノミタケがとても重宝されます。金沢でも少しづつコノミタケが非常においしいきのこであると認知され、価値が上がってきました。一つのブランドになることを期待しています。

第2回 能登きのご祭り 2011

10月16日(日) 10:00～15:00 柳田植物公園

■きのこの村役場

総合案内のほか、お菓子のつかみ取り（朝日建物㈱提供）など

■きのこの村1丁目

きのこの品評会、即売会、きのこ博士によるきのこ教室

■きのこの村2丁目

きのこ汁、きのこ御飯、まつたけ御飯をはじめ、能登牛のブロック丸焼きや能登町地ビールの販売などの屋台村。レストランでは、先着100名限定で、格安で能登きのご&能登牛ランチを提供

■きのこの村3丁目

一般出展者による屋台村

■能登町林業の村

能登森林組合によるパレットストーブの展示販売、二子山牧場直営のソフトクリームの販売、苗木、林業用機械の展示販売

■風あげの村

日本風の会やなぎだ支部による「全国風あげ能登大会」が開催。ミニ風が当たるくじ引きも実施

■きのこの村公園

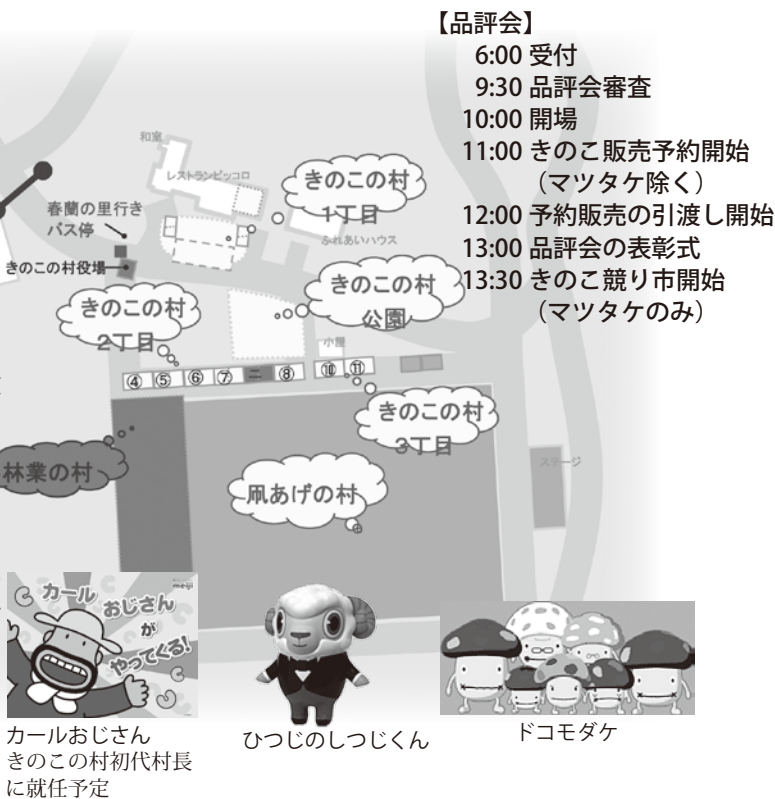
「きのこ祭りドコモダケ」(NTTドコモ)や「きのこ祭りときこの山」(明治製菓)などを予定。ひつじのしつじくん、カールおじさん、たけのこブラザーズたちがやってくるよ。

■春蘭の里

春蘭の里実行委員会提供の「きのこ狩りツアー」を実施

■みらいちゃんの家

北陸放送による金沢発着の能登きのご祭りバスツアー



カールおじさん
きのこの村初代村長に就任予定



ひつじのしつじくん



ドコモダケ

(財)能登半島地震復興基金補助事業

五感まるごと能登づくし

実行委員長

酒屋利信さん

【さかや・としのぶ】

薬局店代表。
平成23年5月に能登町商工会長に就任するとともに、五感まるごと能登づくし実行委員長に就任。9月から能登きのご祭り実行委員長。お取扱店※1を巡るスタンプラリーの実施や各イベントの出向宣伝の実施など、精力的に活動する。今後は「お取扱店」の増加に力を注ぐ。
宇出津在住、56歳。

通年イベントとしての意識づけ

五感まるごと能登づくし実行委員会は、昨年度から(財)能登半島地震復興基金と能登町からの補助金を主な財源に、「春はいちご、夏はブルーベリー、秋はきのこ、冬は寒ぶり、そして年中、能登牛、能登杜氏の酒、地ビール、イカを楽しむ」をキャッチフレーズに、春は苺一会、夏はキリコと灯りの祭典、秋は能登きのご祭り、冬は寒ぶりまつりを実施しています。一年目は、これまで単独に催されていたイベントを、食を通じて通年の共通イベントとして催されていることを意識づけしました。

食材、食を求めて能登町への入り込みを拡大したい

二年目となる平成23年度は、イベントを通じて、そして年間を通じて食材を求めて、食を求めて能登町にやってくる人込客数の増大に取り組むことにしました。

具体的には、昨年度作成したパンフレット「五感まるごと能登づくしお取扱店マップ」(※以下「お取扱店マップ」)を活用したスタンプラリー、四季のイベント毎に金沢市周辺への出向宣伝の実施、そしてお取扱店の充実に取り組んでいます。スタンプラリーでは、町内外にチラシ兼台紙を設置し、規定のスタンプを集めると、取扱店の中から食事券などをプレゼントしています。出向宣伝では、チラシ兼台紙を積極的に配布して、取扱店を利用できる商品引換券の抽選会などを実施しています。取扱店では、取り扱っている食材や商品に応じて、「能登町赤崎いちご」「能登町ブルーベリー」「能登町能登きのこ」「のと寒ぶりまつり」「石川県能登牛」「能登町能登杜氏の酒」ののぼり旗を設置しています。

お客様には、お取扱店マップとスタンプラリーチラシ兼台紙を片手に、のぼり旗を目印にして求めている食材や商品にたどり着いてもらいながら、スタンプラリーに参加できる仕組みを

食材の消費拡大と生産率の向上につなげたい

食材や商品の提供には、生産者の皆様の力が必要です。取扱店の増加が、食材の消費拡大につながり、生産率の向上、後継者の育成につながるきつかけとなってくれることにも期待しています。

町の自慢できる食材、食を、できるだけたくさんの方々に楽しんでいただけるよう、実行委員会をはじめ、イベント実行委員会、取扱店、商品開発者、生産者の皆様と共に今後も取り組んでいきたいと思っています。



食材そのものや食材を生かした料理・商品を提供するお取扱店には、のぼり旗がなびく。

※1 お取扱店…五感まるごと能登づくし実行委員会の取り組みに賛同し、のぼり旗を設置するとともに、食材や商品、商品開発や料理などを取り扱う店舗や事業所のこと

けい 子宮頸がん 予防ワクチン

Q & A

能登町では平成22年10月から、小学6年生～中学3年生を対象（平成23年度のみ高校1年生相当の年齢も対象）に子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成をしています。今までに寄せられた質問や新しく承認されたワクチンについて紹介しますので、接種の参考にしてください。

これから接種を希望される場合は、役場健康福祉課（☎72-2504）に申し込みをしてください。なお、平成22年10月～平成23年8月末までに助成した人数は113人で、内訳は右表のとおりです。

対象：364人（H7～11年度生の女子）

対象	実人数
H7年度生	33
H8年度生	28
H9年度生	26
H10年度生	15
H11年度生	11

Q 子宮頸がんってどんな病気？

A 子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）の持続的な感染が原因となって発症します。HPVには約100種類のタイプがあり、その中でも約15種類のタイプが「ハイリスク」といわれ、子宮頸がんを引き起こします。

Q ワクチンは接種すればよいの？

A 予防接種は、法律に基づいて行われる定期予防接種と保護者の判断で行う任意予防接種に分かれます。子宮頸がん予防ワクチン接種は、任意予防接種になります。

接種する際に不明な点があれば接種医によく相談して、納得のうえ接種を受けましょう。

Q 接種すればがんにならないの？

A 100%予防はできませんが、発症は70%減少するといわれています。残りの30%をカバーするため、20歳になったら定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。

Q 親世代も受ければよいの？

A ワクチンは感染を予防する効果があり、接種の効果が最も高いのは、性交未経験の女子とされています。

性交経験があってもワクチンの効果はある程度期待できますが、接種費用が高価なため、子宮頸がん予防としてはワクチン接種よりもがん検診受診をお勧めします。

Q 生理になっていないけど？

A 生理とは関係ありません。ワクチンを受ける場合は、疾病予防の観点から性交未経験の10代前半に勧めています。

Q 費用はいくら？

A 1回あたり15,000～16,000円くらいで、3回接種が必要なため、その3倍です。

能登町は、対象者に全額公費助成しています。

Q 抗体の持続期間は？

A 予防効果は接種後20年間と推定されています。海外ではすでにこのワクチン接種が導入されていて、追跡調査によって8年以上の高い抗体価（抗体の量）を維持しています。

Q 新しいワクチンって？

A 平成23年9月15日から、『ガーダシル』というワクチンが子宮頸がん予防ワクチンとして公費助成の対象ワクチンに追加され、これまでの『サーバリックス』とあわせて2種類となりました。

どちらのワクチンも3回の接種、6カ月の期間が必要ですが、接種間隔が異なります。接種する際には、接種医にご相談ください。

『サーバリックス』は、HPVのハイリスク約15種類のうち2種類によく効きます。『ガーダシル』は、この2種類のほかに性感染症を予防する効果があります。

「能登町音頭」を 披露します。

能登町音頭の歌詞を募集したところ、多数のご応募ありがとうございました。

能登町音頭選定委員会で審議し、能登町音頭の歌詞は、北海道札幌市の朝倉修さんの作品をもとに作詞家の志賀大介さんが補作したものに決定しました。能登町音頭は、10月10日の能登町大運動会で披露します。CDは11月中旬に制作が完了し、12月1日から各庁舎窓口で販売予定です。

能登町音頭

作詞…朝倉 修
補作…志賀大介
作曲…乙田修三
編曲…池田孝春
歌…永井裕子
(キングレコード)

一、能登は自然よ 自然は能登よ
山の恵みと 海の幸

朝日・夕陽の 九十九湾
ぼつと絵になる 歌になる
さアさ 歌おうよ 踊ろうよ
みんな揃って 能登町音頭

二、能登は歴史よ 歴史は能登よ

平家ホテルの 天の川
真脇遺跡に 千年の
夢と浪漫の 風が吹く
さアさ 歌おうよ 踊ろうよ
みんな揃って 能登町音頭

三、能登は祭りよ 祭りは能登よ

いのち揺さぶる 笛太鼓
あばれ神輿に 舞う火の粉
キリコやさしい 里あかり
さアさ 歌おうよ 踊ろうよ
みんな揃って 能登町音頭

四、能登は稔りよ 稔りは能登よ

渡る稲穂の 黄金波
神に感謝の アエノコト
ブルーベリーは 恋の色
さアさ 歌おうよ 踊ろうよ
みんな揃って 能登町音頭

五、能登は人情よ 人情は能登よ

旅のお人よ こんにちは
今日も絆の 花が咲く
能登はしあわせ 出会う町
さアさ 歌おうよ 踊ろうよ
みんな揃って 能登町音頭